

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間 ： 令和5年7月～令和6年6月

発 行 ： 令和6年10月31日



有限会社古川重機

代表取締役 古川寛一

目 次

1. 環境経営方針	1／13頁
2. 事業活動概要	2／13頁
(1) 事業者名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者名及び連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 認証登録範囲	
(6) 事業規模	
3. 環境経営目標	3／13頁
(1) 令和6年7月～令和7年6月の数値目標	
(2) 短期及び中期数値目標	
(3) その他の取組	
4. 環境経営計画内容	4／13頁
① 電気使用量の削減	
② 燃料使用量の削減	
③ 紙使用量の削減	
④ 水使用量の削減	
⑤ 廃棄物発生の抑制	
⑥ グリーン購入の推進	
⑦ 地域環境への貢献	
5. 環境経営の取組結果と評価及び次期取組	5／13頁
(1) 令和5年度の取組結果	
(2) 取組評価	
(3) 中期環境経営目標	
(4) 次期取組	
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	6／13頁
7. 社長による全体の評価	7／13頁
8. 組織の概要(情報公開)	8／13頁
9. 処理フロー図	9／13頁
10. 受託した産業廃棄物の処理量令和5年度	11／13頁
11. エコアクション21実施体制	13／13頁

環 境 経 営 方 針

基本理念

当社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを強く認識し、企業活動のあらゆる面で、地球環境の健全性を保全することを最優先として事業活動を行うことを基本理念とする。

基本方針

当社は、解体工事・産業廃棄物の収集運搬・中間処理および最終処分をしていることを踏まえ、次に掲げる環境活動を行う。

- 1 当社の事業活動、製品、サービスによる環境経営に対する影響を評価し、重要な項目に関しては、技術的、かつ経済的に可能な範囲で、当社内の関係する全階層において環境経営目的・環境経営目標を設定し、環境マネジメントシステムとその環境パフォーマンスの継続的な改善及び環境汚染の予防を図る。
- 2 関連する環境法規や規制、受入を決めた協定・その他の要求事項を順守する。
- 3 事業活動の全段階を通じて、エネルギー使用の効率化を進め、廃棄物を処理し、有価物を回収し、その適正な処理および有効な設備・施設の導入を図り、環境への負荷をできる限り少なくするために以下の事項について取り組みます。
 - ① エコドライブ、アイドリングストップによる二酸化炭素排出の削減。
 - ② 受託廃棄物・解体材のリサイクルの推進。
 - ③ 分別の徹底で最終処分物の削減。
 - ④ 節電、節水の実施。
- 4 事故等による環境汚染の防止を図るとともに、地域環境の保全活動や情報公開等で地域との良好関係を継続する。
- 5 組織で働く人、又は組織のために働くすべての人に対し、環境経営に関する教育を実施し周知徹底する。
- 6 環境経営方針は、社外にも公表する。

平成21年 6月 20日

有限会社 古川重機



2. 事業活動概要

(1)事業者名及び代表者名

有限会社 古川重機 代表取締役 古川寛一

(2)所在地

- 本社

〒028-4131 岩手県盛岡市洪民字狐沢 34 番 8

電話 019(683)1701 FAX 019(683)1781

E-mail furukawa@f-jyuki.jp H P <https://www.f-jyuki.jp>

- 中間処理(焼却)施設 (古川リサイクルセンター)

〒028-4134 岩手県盛岡市下田字古河川原 952、955-4 及び 948-4

- 中間処理(破碎)施設 (姫神リサイクルセンター)

〒028-4124 岩手県盛岡市玉山馬場字前田 200-5

- 積替保管施設 (川又リサイクルセンター)

〒020-0203 岩手県盛岡市川又字赤坂 12-161

- 最終処分場

〒028-4134 岩手県盛岡市下田字古河川原 67-1 地内

(3)環境管理責任者名及び連絡先

責任者:藤田茂章

連絡先:電話・FAX 本社所在地と同じ

(4)事業内容

解体工事、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業(中間処理、最終処分)

(5)認証登録範囲

全社・全組織・全事業範囲

(6)事業規模 (令和5年度実績)

規模	単位	本社	古川RC 中間処理(焼却)	姫神RC 中間処理(破碎)	川又RC 積替保管	最終処分場 安定型埋立※1
売上高	百万円	552				
従業員	人	42	3	3	9	1
床面積	m ²	958	-	-	-	-
面積	m ²	8,369	1,828	3,500	1,980	10,497
能力		—	19t/日	130t/h	327m3	1316 m3

3. 環境経営目標

(1)令和5年7月～令和6年6月の数値目標

項目	単位	令和4年度	令和5年度 目標
二酸化炭素排出削減※1	kg-CO2	1,023,287	1,013,054
電気使用量削減	kwh	548,089	542,608
燃料使用量削減	リットル	298,992	296,002
紙使用量削減	kg	264	319
水使用量削減	m ³	566	560
廃棄物削減	t	1,560	2,406
解体工事リサイクル率向上	%	74	75

(2)中期数値目標(対令和7年度)

項目	単位	令和4年度基準値	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
二酸化炭素排出削減※1	kg-CO2	1,023,287	1,013,054	1,002,821	992,588
電気使用量削減	kwh	548,089	542,608	537,127	531,646
燃料使用量削減	リットル	298,992	296,002	293,012	290,022
紙使用量削減	kg	322	319	316	312
水使用量削減	m ³	566	560	555	549
廃棄物削減	t	2,430	2,406	2,381	2,357
解体工事リサイクル率向上	%	74	75	76	77

※1 購入電力の二酸化炭素排出係数について

焼却施設については、環境省報道発表のオリックス(株)実排出係数 0.527 kg-CO2/kwh を使用。

その他については、伊藤忠エネクス(株)実排出係数 0.399 kg-CO2/kwh を使用しております。

(3)その他の取組

清掃活動へ参加を積極的に行う。

4. 環境経営計画

環境経営計画及び具体的取組を次のとおり策定した

- ① 電気使用量の削減【目標値：基準年度の－1.0%】
 - ・ 空調機の点検、清掃の実施。
 - ・ 夜間時照明は必要最小限度にする。
 - ・ 長時間の離席や不在の時はPCの電源を切る。
 - ・ 事務所内の冷暖房設定を適正化する。
 - ・ 照明器具の間引きの実施。
 - ・ LED 照明の採用。
- ② 燃料使用量の削減【目標値：基準年度の－1.0%】
 - ・ 車両、重機のアイドリングストップの励行。
 - ・ エコドライブの励行。
 - ・ 省燃費車両、低公害車の導入。
 - ・ 収集運搬車輛の計画回収の実施。
- ③ 紙使用量の削減【目標値：基準年度の－1.0%】
 - ・ 両面印刷の徹底。
 - ・ 裏紙の活用。
 - ・ 使用済み封筒の再利用。
 - ・ 電子データでの保存。
 - ・ 集約コピーの実践。
 - ・ 電子データでの FAX 送受信。
- ④ 水使用量の削減【目標値：基準年度の－1.0%】
 - ・ 止水機能の付いた散水機の使用し、出しっぱなしにしない等節水に努める。
 - ・ 節水コマの取付け。
- ⑤ 廃棄物発生の抑制【目標値：基準年度の－1.0%】
 - ・ 仕入れ製品の包装梱包材の再利用。
 - ・ ゴミを分別してリサイクルに努める。
 - ・ 地域の資源回収へリサイクル品を提供する。
- ⑥ 解体工事リサイクル率向上【目標値：基準年度の＋1.0%】
 - ・ マテリアルリサイクルの推進
 - ・ 廃棄物のリサイクル推進
 - ・ 分別によるリサイクルの推進

5. 環境経営の取組結果と評価及び次期取組

(1) 令和5年7月～令和6年6月の取組結果

項目	単位	基準値 (令和4年度)	目標値	実績値	達成の可否
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	1,023,287	1,013,054	1,172,982	否
① 電気使用量の削減	kwh	548,089	542,608	540,396	可
② 燃料使用量削減	リットル	298,992	296,002	359,729	否
③ 紙使用量削減	kg	322	319	312	可
④ 水使用量削減	m3	566	560	651	否
⑤ 廃棄物排出量	t	1,560	1,544	1,550	可
⑥ 解体工事リサイクル率向上	%	74	75	77	可

(2) 令和5年度の取組結果

二酸化炭素排出削減について

化石燃料使用の増が影響し目標を達成できませんでした。

① 電気使用量の削減について

基準年対比で0.5%減で目標を達成しました。

部門別では姫神リサイクルセンターでのみ前年比10%増となりました。

② 燃料使用量の削減について

ガソリン・軽油の使用で増加となり、化石燃料全体での目標を達成できませんでした。

③ 紙使用量削減について

前年比2%減で、目標を達成できました。

④ 水使用量の削減について

節水の呼びかけましたが、目標を達成できませんでした。

⑤ 廃棄物の排出量について

目標を達成しました。継続して、取り組んでいく。

⑥ 解体工事リサイクル率向上

マテリアルリサイクル、分別による取組を実施し、目標を達成できました。

(3)中期環境経営目標

項目	単位	令和4年度基準値	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
二酸化炭素排出削減※1	kg-CO2	1,023,287	1,013,054	1,002,821	992,588
電気使用量削減	kwh	548,089	542,608	537,127	531,646
燃料使用量削減	リットル	298,992	296,002	293,012	290,022
紙使用量削減	kg	322	319	316	312
水使用量削減	m ³	566	560	555	549
廃棄物削減	t	2,430	2,406	2,381	2,357
解体工事リサイクル率向上	%	74	75	76	77

(4)次期取組み内容

① 電気使用量の削減について

空調設備の定期的な点検・清掃の実施。
不要な電気の使用や消し忘れをしないよう心掛ける。
照明器具の間引きの実施。
LED 照明の採用を検討する。

② 燃料使用量の削減について

エコドライブ、アイドリングストップを継続し取り組む。
車両(営業車・重機)を更新する際は、省燃費車・低公害車を優先し導入する。
廃棄物収集運搬車両の回収の際の計画化を継続し実施する。

③ 紙使用量削減について

FAX 送受信時のペーパーレス化を実践し、紙の使用を最小限にする。
封筒の再利用、裏紙の使用、集約コピーも継続し取り組む。
電子ファイルの効率的な運用。

④ 水使用量の削減について

節水を心がけ、無駄な水の使用をしないようにする。
雨水の利用を検討する。

⑤ 廃棄物の削減について

分別を徹底し、削減に努める。
プリンタートナーのリサイクルの実施。
また、産業廃棄物処理委託する際は、熱回収・優良認定業者を優先し、委託する。

⑥ 解体工事リサイクル率向上について

解体工事の排出品目について、可能な限り、リサイクル率向上に取り組む。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況は、令和6年10月末日にチェックリストで廃棄物処理法等を確認し、その結果は、下表のとおりで法律違反、苦情はありませんでした。

内 容	結 果
法律違反の有無	無
訴訟の有無	無
環境に関する苦情の有無	0件

7. 社長による全体の評価

今期は燃料の使用量についての増加となり、二酸化炭素排出削減目標を達成できませんでした。継続して省エネルギーによる、二酸化炭素の排出削減に取組み目標を達成していくよう取組を継続したいと思います。

8. 組織の概要(情報公開)

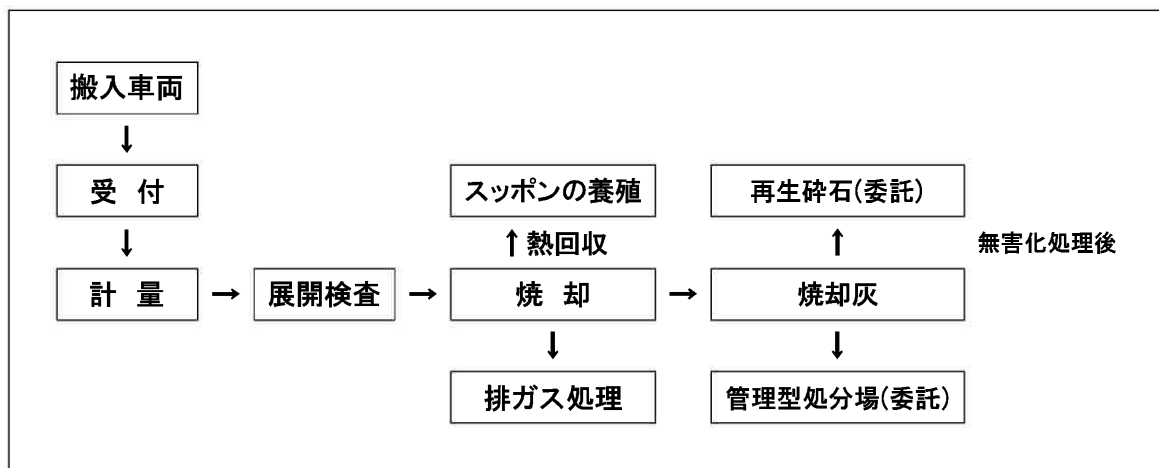
事業所名		有限会社 古川重機			
代表者名		古川寛一			
所在地		岩手県盛岡市洪民字狐沢 34 番地 8			
環境管理責任者		藤田茂章			
連絡先		電話	019-683-1701	FAX	019-683-1781
		E-mail	furukawa@f-jyuki.jp		
		URL	https://www.f-jyuki.jp		
事業活動の内容		解体工事業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業、 特別管理産業廃棄物収集運搬業を行っております。			
事業の規模	事業年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	売上高(百万円)	499	585	552	658
	収集運搬量(t)	18,150	18,804	16,885	24,553
	中間処理量(t)	16,331	16,597	15,139	20,217
	最終処分量(t)	0	0	0	0
	社員・従業員(名)	59	56	58	59
法人設立年月日		昭和 61 年		資本金	600 万円
許可の内容	許可名/許可番号	年 月 日		事業の範囲 (事業区分、廃棄物の種類)	
	建設業 第 7197 号	許可	令和 3 年 9 月 21 日	土木工事業、建築工事業、解体工事業、とび・土工工事業	
		有効	令和 8 年 9 月 20 日		
	産業廃棄物収集運搬業(盛岡市) 11012030914	許可	令和 3 年 4 月 19 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、	
		有効	令和 11 年 4 月 18 日		
	産業廃棄物収集運搬業(岩手県) 00301030914	許可	令和 3 年 4 月 19 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、	
		有効	令和 11 年 4 月 18 日		
	特別管理産業廃棄物収集運搬業(岩手県) 00351030914	許可	令和 6 年 2 月 28 日	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性廃棄物、鉱さい、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥	
		有効	令和 13 年 2 月 27 日		
	産業廃棄物処分業(盛岡市) 11042030914	許可	令和 3 年 4 月 19 日	中間処理 紙くず、繊維くず、木くず、 がれき類(コンクリート廃材及びアスファルト廃材) 最終処分 廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、がれき類、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず、非飛散性アスベスト	
		有効	令和 11 年 4 月 18 日		
	産業廃棄物処分業(岩手県) 00321030914	許可	令和 3 年 4 月 19 日	中間処理 がれき類(コンクリート廃材及びアスファルト廃材)	
		有効	令和 11 年 4 月 18 日		

設備	設備名	能力・産廃種類	台数	設備	設備名	能力・産廃種類	台数
	車輛	軽トラック	2		重機	油圧ショベル 0.1 m ³	2
	〃	2t	3		〃	油圧ショベル 0.25 m ³	5
	〃	4t	15		〃	油圧ショベル 0.45 m ³	13
	〃	10t	4		〃	油圧ショベル 0.7 m ³	12
	〃	ユニック 4t	1		〃	油圧ショベルロングアーム	1
	〃	ユニック 8t	1		〃	ホイールローダー	4
	〃	アームロール 3t	1		焼却炉	日本サムテック NH-30CB 改	1
	〃	アームロール 4t	2		破砕機	コベルコ KMC-300	1
	〃	アームロール 10t	1				
	〃	重機運搬車					

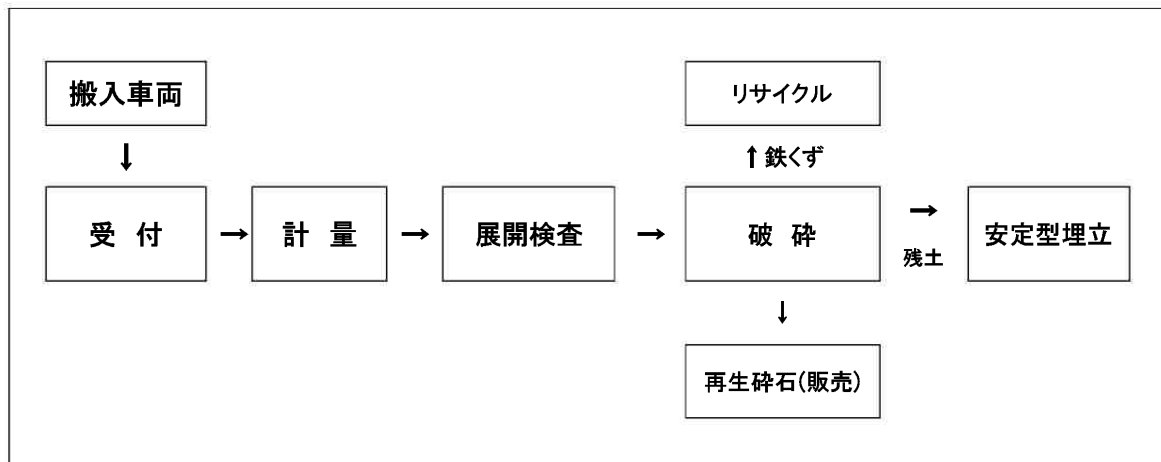
9. 廃棄物処理フロー図

- 中間処理(焼却) 施設名 : 古川リサイクルセンター (処理能力:19t/日)

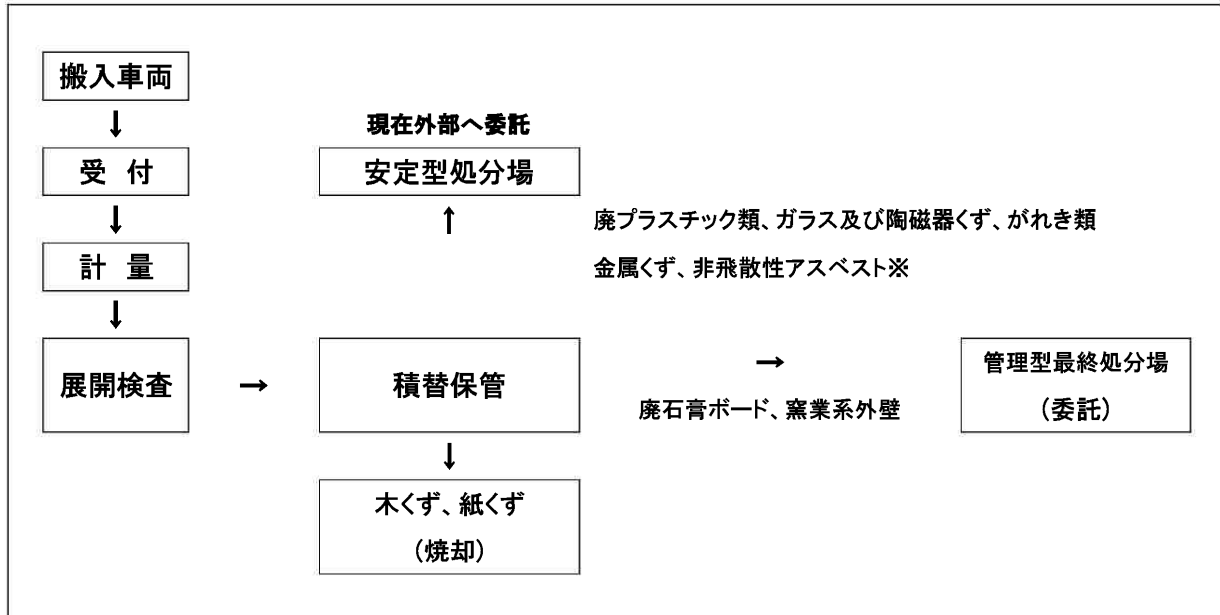
受け入れ品目 : 木くず、紙くず、繊維くず



- 中間処理(破碎) 施設名 : 姫神リサイクルセンター (処理能力:1040t/日)
受け入れ品目 : がれき類 (コンクリート、アスファルト廃材)



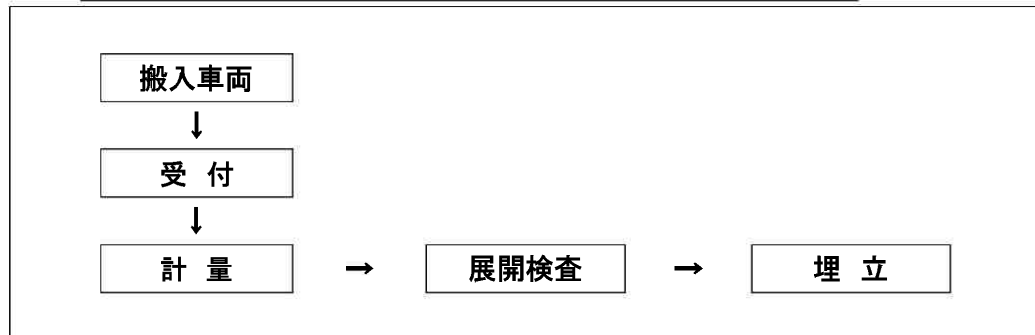
- 積替保管 施設名 : 川又リサイクルセンター (保管上限量:327m3)
受け入れ品目 : 木くず、紙くず、廃プラスチック類、ガラス及び陶磁器くず、
がれき類、金属くず、非飛散性アスベスト含有



※非飛散性アスベスト含有の廃棄物については、展開検査を実施しないで安定型処分場へ搬入。

現在以下の処理施設は、受入れ停止中です。

- 安定型最終処分場(埋立) 施設名：最終処分場（埋立容量：86,349m³）
受入品目：廃プラスチック類、ガラス及び陶磁器くず、がれき類、金属くず
非飛散性アスベスト含有
(現在、すべての品目について、外部へ処理委託しております。)



※非飛散性アスベスト含有の廃棄物については、展開検査を実施しないで埋立。

廃棄物処理料金について

収集運搬料金・処理料金は、廃棄物の量、種類、運搬距離等により異なりますので、

お問い合わせください。 TEL 019-683-1701 FAX 019-683-1781

E-mail furukawa@f-jyuki.jp 担当 坂下

10. 受託した産業廃棄物の処理量 令和5年度

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
木くず	t	2,887.56
紙くず	t	44.42
繊維くず	t	32.31
廃プラスチック	t	482.21
ガラス・陶磁器くず	t	236.73
金属くず	t	198.45
がれき類	t	1,459.44
非飛散性アスベスト	t	221.83
コンクリートガラ	t	15,837.55
アスファルトガラ	t	2,290.19
廃石膏ボード	t	862.67
合計	t	24,553.36

(ii) 中間処理 **処理施設で受け入れた産業廃棄物**

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理		木くず	焼却	t	3,452.11
		紙くず	焼却	t	43.75
		繊維くず	焼却	t	82.86
		コンクリートガラ	破碎	t	15,568.51
		アスファルトガラ	破碎	t	1,069.63
	再資源化等	木くず	熱回収	t	3,452.11
		紙くず	熱回収	t	43.75
		繊維くず	熱回収	t	82.86
		コンクリートガラ・アスファルトガラ	再生砕石	t	8,626.83
		金属くず	マテリアルリサイクル	t	463.37
小計			t	12,668.92	
合計			t	20,216.86	

(iii) 最終処分 **自社処分場で受け入れた産業廃棄物**

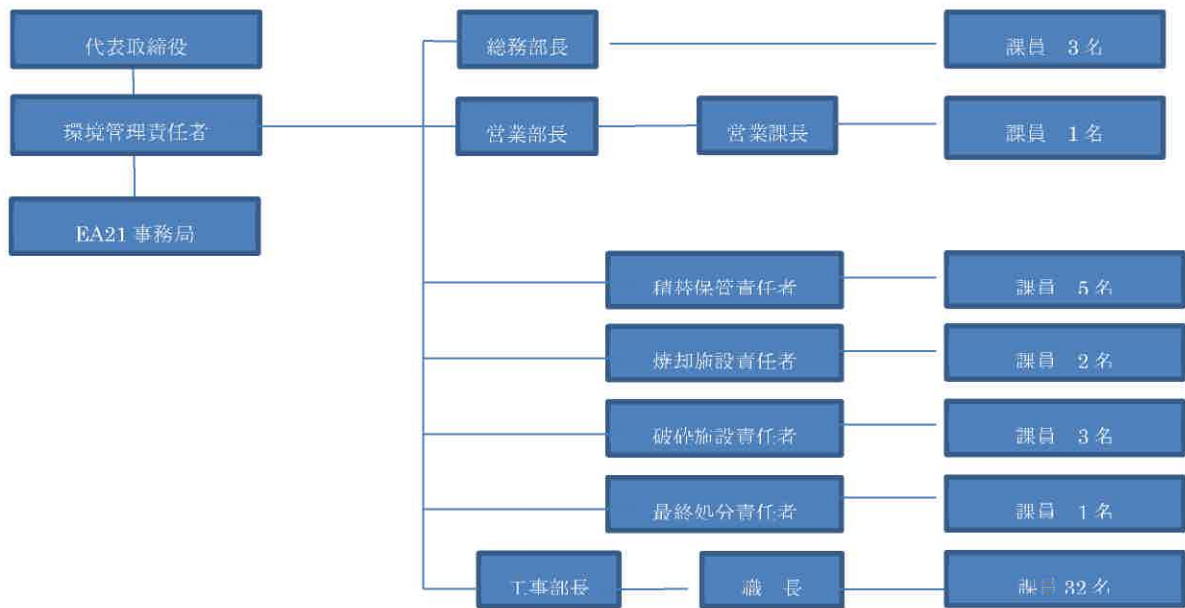
廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
廃プラスチック	安定型埋立	t	0.00
ガラス・陶磁器くず	安定型埋立	t	0.00
金属くず	安定型埋立	t	0.00
がれき類	安定型埋立	t	0.00
非飛散性アスベスト	安定型埋立	t	0.00
合計		t	

(iv) 中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

産業廃棄物	中間処理後の 最終処分	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等
		燃え殻	管理型埋立	t	0.00
		ばいじん	管理型埋立	t	4.49
		小計		t	4.49
	(再資源化等) 中間処理	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量等
		燃え殻	造粒固化	t	356.18
		金属くず	有価売却	t	636.00
		コンクリートガラ・アスファルトガラ	有価売却・自社再利用	t	8,397.88
		小計		t	9,390.06
	合計			t	9,394.55

11. エコアクション21実施体制

実施体制



役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	代表取締役	①経営における課題とチャンスの明確化。 ②環境管理責任者を任命。 ③環境経営方針を定め、全従業員に周知させる。 ④環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しを行う。 ⑤取組に関する経営資源を用意する。
環境管理責任者	業務部長	①代表者に代わってシステムを構築し、運用する。 ②代表者に結果を報告する。 ③必要な教育計画を作成する。
部門責任者	各部門責任者	部門内において ①省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。 ②教育計画に従い部門内の教育・訓練を実施する。 ③EA21の目標達成の取り組みを推進し、チェックし環境管理責任者の了承のもと、必要な是正処置・改善を行う。
コミュニケーション窓口	営業部門	①地域住民、関連機関の苦情等の窓口業務行う。 ②苦情への対策・予防処置策定を行い、代表者の承認を受け関係者に実施を指示、経過・結果の報告を受け改善・定着を図る。
EA21事務局	総務部長 補佐 1 名	①環境管理責任者の補佐 ②書類作成、起案を行う。
社員		①部門責任者のもと、省資源、省エネ、節水に努める。 ②EA21取組に関する教育訓練を受ける。 ③改善提案を行う。